

授業科目(ナンバリング)	相談援助演習Ⅱ A (DA210)			担当教員	高島 恭子・韓 榮芝・野田 健・ ヴィラーク ヴィクトル・婁 孝承		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	2 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ ラーニング の 類 型
相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性を視野に入れつつ、社会福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について実践的に習得する。これらを専門的な援助技術として概念化し、理論化し、体系化していくことができる能力を滋養する。							④⑤⑥⑦⑩
ホスピタリティ を構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	具体的な相談援助場面及び相談援助の過程を想定した事例において、専門的な援助技術を使用できる。				課題レポート	20%	
情報収集、 分析力	相談援助事例における具体的な課題について、総合的かつ包括的なアセスメント及びプランニングができる。				小レポート グループ発表	20% 10%	
コミュニケーション力	具体的な相談援助場面及び相談援助の過程を想定した事例において、基本的な面接技術を使用できる。				実技発表 グループ発表	20% 10%	
協働・課題解決力	与えられた課題に取り組み、個人及びグループワークを遂行できる。				グループワーク	10%	
多様性理解力	具体的な事例を通して、多様な被援助者について理解できる。				グループワーク	10%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>課題レポート（20%）及びその実技発表（20%）では、学んだ専門的な援助技術を正しく理解し、応用できるかを評価する。文字数不足及び誤字、脱字は減点の対象とし、未提出の場合は単位認定を行わない。グループワーク（20%）では、基本的なコミュニケーション技術を活用しながら、有意義なディスカッションに貢献できたかを評価する。小レポート（20%）では、グループワークの成果を適切にまとめられるかを評価する。グループ発表（20%）では、グループワークの成果を適切にプレゼンテーションできるかを評価する。フィードバックはその都度、授業内で行う。</p> <p>なお、不適切な授業態度（教科書を持参しない、遅刻、私語、携帯電話等の使用、居眠り等）は、発覚した場合に減点の対象となる。</p>							
授 業 の 概 要							
<p>事例を題材としグループワークを通して、相談援助における各種面接及びコミュニケーション技術、ケースワーク及びグループワークの展開過程への理解を深める。具体的な相談援助場面及び相談援助の過程を想定した実技指導により、基本的なコミュニケーション技術、基本的な面接技術及び専門的な援助技術の実技演習を行う。</p> <p>本科目の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。</p>							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書：社団法人日本社会福祉士養成校協会監修(2015)『社会福祉士相談援助演習(第2版)』中央法規出版 参考書：特に指定しない 指定図書：社団法人日本社会福祉士養成校協会監修(2015)『社会福祉士相談援助演習(第2版)』中央法規出版</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>グループワークを実施するため、教科書の該当箇所及び事例を事前に読んでおくこと。 グループのメンバーを尊重し合いながら、積極的に発言すること、調べること、書くこと。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	オリエンテーション	授業の進め方、評価等の確認を行う。	予習：相談援助演習Ⅰの復習 復習：シラバスの熟読
2	基本的な面接技術の概要	事例を通して相談援助における面接の目的と特性について体験的に学ぶ。	予習：教科書 101 頁の事例 復習：教科書 100-104 頁
3	面接の基本姿勢	事例を通して相談援助における傾聴・共感・支持の示し方について体験的に学ぶ。	予習：教科書 106 頁の事例 復習：教科書 105-111 頁
4	基本的な応答技法	事例を通して相談援助における各種の応答技法とその役割について体験的に学ぶ。	予習：教科書 113 頁の事例 復習：教科書 112-116 頁
5	ディスカッション技術	事例を通して専門的な場面における議論の進め方について体験的に学ぶ。	予習：教科書 121 頁の事例 復習：教科書 117-122 頁
6	ブレインストーミングと情報整理	事例を通して専門的な場面におけるアイデアの出し方とまとめ方について体験的に学ぶ。	予習：教科書 123 頁の事例 復習：教科書 123-128 頁
7	プレゼンテーション技術	事例を通して専門的な場面における事例発表について体験的に学ぶ。	予習：教科書 106, 113, 123 頁の事例 復習：教科書 129-135 頁
8	インテーク	事例を通して相談援助における初期の関係構築について体験的に学ぶ。	予習：教科書 81 頁の事例 復習：教科書 74-83 頁
9	アセスメント	事例を通して相談援助における初期の情報収集と分析について体験的に学ぶ。	予習：教科書 83 頁の事例 復習：教科書 83-84 頁
10	プランニング	事例を通して相談援助における支援計画の立て方について体験的に学ぶ。	予習：教科書 84 頁の事例 復習：教科書 84 頁
11	支援の実施	事例を通して相談援助における支援計画の実行について体験的に学ぶ。	予習：教科書 85 頁の事例 復習：教科書 85-86 頁
12	モニタリング、効果測定、最終とアフターケア	事例を通して相談援助における計画実行の経過観察、支援結果の評価、援助関係の適切な終わり方について体験的に学ぶ。	予習：教科書 86 頁の事例 復習：教科書 86-88 頁
13	グループワーク技術	事例を通して集団を活用した相談援助の展開過程について体験的に学ぶ。	予習：教科書 89 頁の事例 復習：教科書 88-98 頁
14	課題レポートの実技発表①	指定の事例に対してグループ単位で作成した課題レポートの実技発表及び評価を行う。(グループ 1～3)	予習：課題レポート作成 復習：実技発表の復習
15	課題レポートの実技発表②	指定の事例に対してグループ単位で作成した課題レポートの実技発表及び評価を行う。(グループ 4～6)	予習：課題レポート作成 復習：実技発表の復習